

## 試聴会・訪問記掲載

### 河口無線アキュフェーズ製品展示会(2023.4.30)(HP 掲載)

#### 1. はじめに

河口無線で開催されたアキュフェーズのシステムの展示に CD 持参で行って来ました。

#### 2. 開催要項と使用機器等

期日：2023.4.29 より ゴールデンウィーク期間中

場所：3F 試聴室

展示機器：

---



アキュフェーズ プリアンプ C-3900



アキュフェーズ モノラルパワーアンプ A-300



アキュフェーズ SACD プレーヤー DP-750



クアドラル スピーカーシステム VULKAN-9



当日のセッティング

---

### 3. 試聴の経過

持参した CD は次のものです。

**hyperion CDA67993**

ウジェーヌ・イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ 1 番～6 番  
アリーナ・イブラギモヴァ

**SONY SICC 40079**

ベートーヴェン ピアノソナタ 8 番ハ短調「悲愴」他

ヴァレリー・アフアナシエフ

ARCHIVE POCA-1132

オペラアリア集

アンネ・ゾフィー・フォン・オッター

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート



上記の CD は事前に自宅において、EMT981 で再生して音質を確認後、試聴に臨みました。それ故、スピーカーアキュライザーをセットしている自宅のシステムの印象との比較になります。

イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタは、太く伸びやかなヴァイオリンの音色は好ましいところがありますが、やや緻密さに欠けるところがあります。

ベートーヴェンのピアノソナタ 8 番は、ハイエンドらしいスケール感があるもののピアノの低域が VULKAN-9 のウーファーの金属的な響きが載ってきます。

なお、イザイとベートーヴェンの奏者の演奏は昨年の演奏会で聴いています。

オッターのオペラアリア集は、伸び伸びと歌っていますが、オッターの細かい歌唱テクニックやイングリッシュコンサートの古楽器のニュアンスが出てきません。

そしてどの曲を聴いても同じような印象を受けることが言え、演奏や曲の表情を変えてしまうように感じました。

以上、昨今のハイエンドオーディオらしい魅力は認識できましたが、スピーカーアキュライザーの効果を聴いてしまうと物足りないところもあります。このようなハイエンド装置にスピーカーアキュライザーを加えるとどうなるか興味の沸くところです。

なお、VULKAN-9 の紹介記事が下記サイトに掲載されています。

<https://www.network-jpn.com/quadrant-aurum-vulkan-9/>

[https://www.network-jpn.com/main/wp-content/uploads/book/vulkan9\\_aa169.pdf](https://www.network-jpn.com/main/wp-content/uploads/book/vulkan9_aa169.pdf)

以上

